

i F r e e 全世界株式ESGリーダーズ・インデックス

MSCI ACWI ESG Leaders 指数のご紹介①

2022年10月24日

平素は当ファンドをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび「i F r e e 全世界株式ESGリーダーズ・インデックス」の特徴についてまとめましたのでご紹介いたします。

i F r e e 全世界株式ESGリーダーズ・インデックスへの思い

人生100年時代を迎え、長い人生をより充実したものにするために、資産運用はますます重要になると考えます。資産運用会社として、皆さまの人生において長きにわたってお付き合いいただくことのできる商品を検討した結果、「ESG（環境・社会・ガバナンス）投資」という結論に至りました。

ESG投資とは一言でいうとSDGs（持続可能な開発目標）など「持続的社會への貢献度」に注目して投資することです。

持続的社會へ貢献できる企業はそうでない企業と比較した場合、環境リスクなど考慮した事業経営により、リスク発生確率や発生時の影響を抑えられる可能性が高く、長期的な成長が期待できます。

しかし、長期投資においては国や企業の成長性を正確に予測し続けることは非常に困難です。従って、投資対象となる市場を限定せず世界に分散投資することも大切であると考えます。

「ESG投資」と「全世界への分散」この2つへの投資を低コストで長期にご活用頂くことをコンセプトに誕生したのが「i F r e e 全世界株式ESGリーダーズ・インデックス」です。

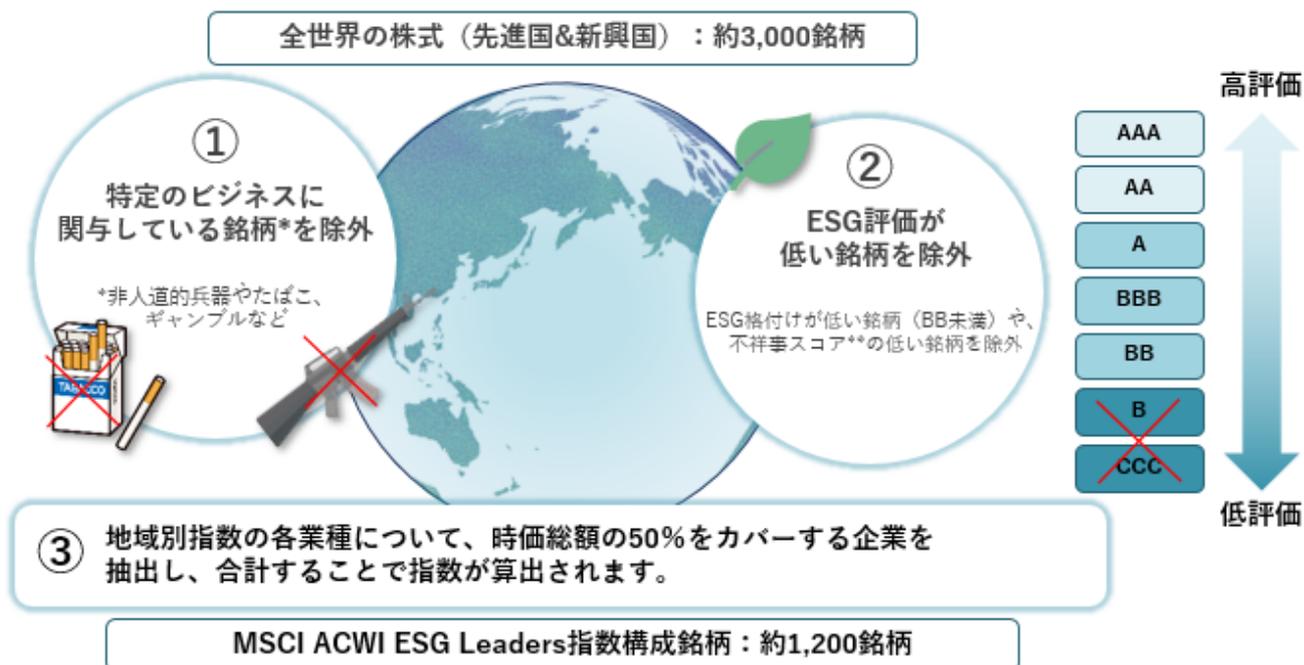
私たちは、投資とは未来を形作ることだと考えます。皆さまの思い描く未来に向けて、人生をより豊かなものにするために、当ファンドが皆さまの資産形成の一助となれば幸いです。

MSCI ACWI ESG Leaders 指数とは？

当指数は先進国と新興国からなる全世界の株式の中から、ESG 評価（環境： Environmental 、社会： Social 、ガバナンス： Governance ）が高い企業の株式を抽出し、時価総額加重平均で算出した指数です。

ESG投資を通じたSDGs達成への貢献と、持続可能な企業成長による中長期的なリターンの獲得が期待できます。

指数構築プロセスのイメージ



**不祥事スコア：ESGに深刻な負の影響を与える不祥事に巻き込まれているかを示すスコアです。0-10まであり、0が最も深刻な不祥事になります。

どんな企業が除外されるのか？

MSCI ACWI ESG Leaders 指数は、指数構築プロセスの中で、以下のような特定のビジネスに関する銘柄はESGの観点から不適当と判断し除外します。



非人道的兵器（クラスター爆弾、地雷など）や核兵器などに関する銘柄は倫理的に問題があるとして除外されます。



石炭の採掘や石炭による火力発電により一定以上の収益を得ている銘柄は、環境面への悪影響を考慮して除外されます。



賭博関連事業活動から一定以上の収益を得ている銘柄、たばこ関連製品の生産から一定以上の収益を得ている銘柄は倫理的に問題があるとして除外されます。

ギャンブルやたばこは中毒性があり人々の健康や生活に悪影響を与えるものとして、1920年代の米国でキリスト教的倫理の観点から投資対象から外す動きがもたれています。

たばこに関しては、健康だけではなく環境への負荷も大きいことが報告されています。世界保健機関（WHO）の発表によると、たばこの生産・消費において毎年220億トンの水の喪失、8,400万トンの二酸化炭素排出、約4兆5,000億個のタバコのフィルターがポイ捨てにより廃棄され自然汚染やプラスチック汚染の一因となるなどの環境負荷がかかっており、環境の観点からも影響が大きいといえます。



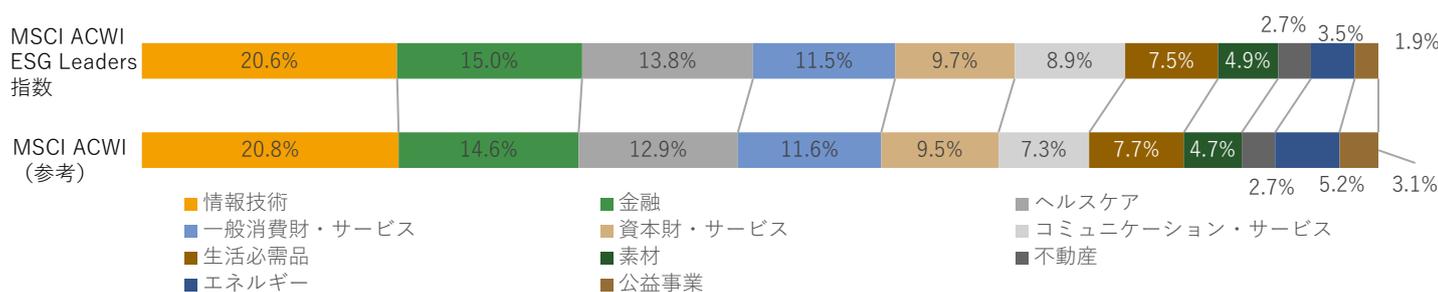
MSCI ACWI ESG Leaders 指数の構成比率

業種別構成比率、国・地域別構成比率は、ESGを考慮せず、全世界の全ての株式を投資対象としたMSCI ACWIと比較すると大きな違いはなく、分散投資されていることがわかります。

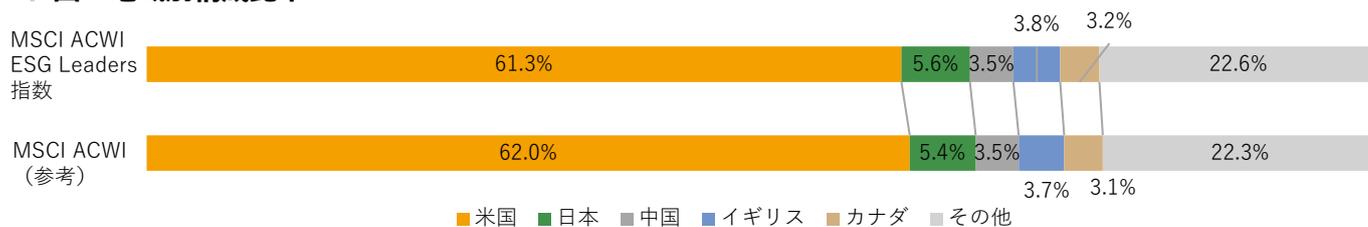
(2022年9月末時点)

	MSCI ACWI ESG Leaders 指数	(参考) MSCI ACWI
銘柄数	1,174銘柄	2,900銘柄

業種別構成比率



国・地域別構成比率



※四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

(出所) MSCI

MSCI ACWI ESG Leaders 指数の組入上位 10 銘柄

指数構成銘柄の組入上位銘柄は、社会において重要な役割を担う企業で構成されています。

(2022年9月末時点)

銘柄名	業種名	国・地域名	MSCI ACWI ESG Leaders 指数	(参考) MSCI ACWI
マイクロソフト	情報技術	米国	6.4%	3.2%
テスラ	一般消費財・サービス	米国	2.7%	1.4%
アルファベットA	コミュニケーション・サービス	米国	2.2%	1.1%
アルファベットC	コミュニケーション・サービス	米国	2.1%	1.1%
ジョンソンエンドジョンソン	ヘルスケア	米国	1.7%	0.8%
TSMC	情報技術	台湾	1.3%	0.6%
エヌビディア	情報技術	米国	1.2%	0.6%
P&G	生活必需品	米国	1.2%	0.6%
ビザ	情報技術	米国	1.1%	0.6%
ホーム・デポ	一般消費財・サービス	米国	1.1%	0.6%

(出所) MSCI

Daiwa Asset Management

MSCI指数の推移

MSCI ACWI ESG Leaders 指数とMSCI ACWIのパフォーマンスを比較すると、5年間でみるとやや上回るパフォーマンスとなっています。

MSCI ACWI ESG Leaders 指数推移（月次）

（2014年10月末～2022年9月末）



※2014年10月末を100として指数化、配当込み円ベース。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

リターン・リスク（月次）

（2022年9月末時点）

年率リターン	MSCI ACWI ESG Leaders 指数	（参考）MSCI ACWI
1年	1.2%	2.7%
3年	14.1%	14.4%
5年	9.9%	9.8%

年率リスク	MSCI ACWI ESG Leaders 指数	（参考）MSCI ACWI
1年	16.9%	15.9%
3年	17.4%	17.5%
5年	16.3%	16.6%

投資効率（リターン/リスク）

	MSCI ACWI ESG Leaders 指数	（参考）MSCI ACWI
2014年10月末 ～ 2022年9月末	0.58	0.57

（出所）ブルームバーグ

Daiwa Asset Management

■ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日本を含む世界の株式に投資し、投資成果を MSCI ACWI ESG Leaders 指数（円ベース）の動きに連動させることをめざします。

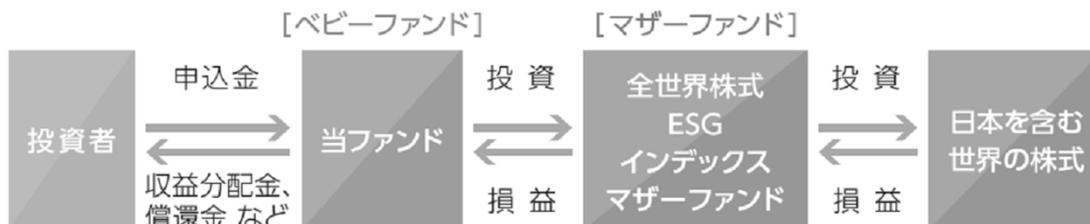
（注）「株式」…DR（預託証券）を含みます。

ファンドの特色

1. ベンチマークである MSCI ACWI ESG Leaders 指数（円ベース）への連動をめざしたポートフォリオを構築します。
また、運用の効率化を図るため、日本を含む世界の株価指数との連動をめざす ETF（上場投資信託証券）、株価指数先物取引を利用することがあります。

2. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。

ファミリーファンド方式とは、投資者のみなさまからお預かりした資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



● MSCI ACWI ESG Leaders 指数について

先進国と新興国からなる全世界の株式の中から、ESG 評価（環境：Environmental、社会：Social、ガバナンス：Governance）が高い企業の株式を抽出し、時価総額で加重した指数です。

[特徴]

- ・ 「MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス」を構成する地域別指数に組み入れられている企業のスクリーニングを行ない、適格銘柄の順位付けをしたうえで、地域別指数の各セクターおよび地域について、時価総額の50%をカバーする企業の抽出をめざしています。MSCI ESGレーティングおよびMSCI ESG Controversies Scores の適格性基準に満たない企業、またアルコール、ギャンブル、たばこ、銃器などに関与している企業は除外されます。
- ・ ESG 評価の優れた全世界の株式の動きを表す代表的なベンチマークです。

● 指数の著作権等について

MSCI ACWI ESG Leaders 指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

《MSCI社のESG格付について》

- MSCI社は世界最大級のESGリサーチ会社で270人以上のESGアナリストが所属。
- 同社の算出するESGインデックスは世界最大級の機関投資家であるGPIFなどにも採用されています。

(出所) MSCI



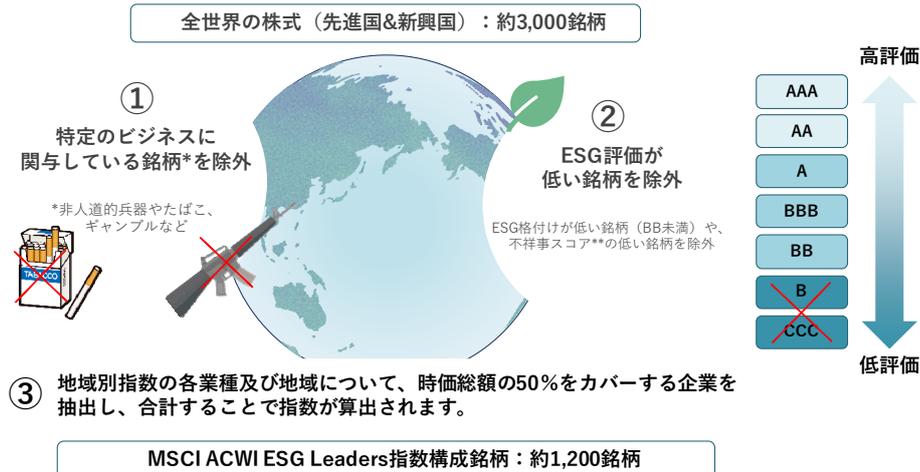
※環境と社会のリスクは業種によって異なるため、各業種ごとに影響度合いが大きい観点を評価します。
 ※2021年3月末時点

《指数の構築プロセスのイメージ》

- MSCI ACWI ESG Leaders 指数の算出概要

当指数はESG評価の優れた全世界の株式の動きを表す代表的な指数です。

指数の構築プロセスのイメージ



ESG投資を通じたSDGs達成への貢献と、
持続可能な企業成長による中長期的なリターンの獲得が期待できます。

(出所) MSCI

※ **不祥事スコア：ESGに深刻な負の影響を与える不祥事に巻き込まれているかを示すスコアです。0-10まであり、0が最も深刻な不祥事になります。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。	—
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 0.209% （税抜 0.19%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託証券は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

i F r e e 全世界株式ESGリーダーズ・インデックス 取扱い販売会社

販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名)		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○		
株式会社新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○		
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
株式会社CONNECT	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3186号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。